

新製品「Lightning BIM ファミリ管理」の販売開始のお知らせ

建設DXを推進する株式会社Arent（東京都中央区、代表取締役社長：鴨林広軌、証券コード：5254 東証グロース、以下「当社」）は、このたびAutodesk Revit（オートデスク社のBIMソフトウェア、以下Revit）のファミリデータをクラウドで管理する新製品『Lightning BIM ファミリ管理』の販売を開始いたしますのでお知らせいたします。



【Lightning BIMシリーズについて】
2023年4月から公共工事におけるBIM原則適用化が始まりBIMの普及が急がれていますが、BIMソフトウェアの操作は難易度が高く、活用できる人材に限られてしまうという課題がありました。これを誰もが簡単に操作できることを目標とし、開発されたアドインソフトウェアがRevit アドイン『Lightning BIM』シリーズです。

【背景】
Revitにおけるデータの構成要素「ファミリ」は、様々な属性情報（例：品番、サイズ、金額等）を持ちますが、建設業界ではその標準化に課題がありました。『Lightning BIM ファミリ管理』により、クラウド上でファミリデータを一括管理し、更新を即時にプロジェクトに適用。これにより、手動修正やバージョン確認の必要がなくなり、業務の効率化を大幅に推進します。

B Lightning BIM ファミリ管理



【効果】

ファミリの属性情報を手入力からクラウドによるデータ連携へと変更することで、作業時間を30%削減します。さらに、BIMマネジャーからの指摘事項に対する修正や確認作業も80%削減することができ、効率化と精度の向上に大きく寄与します。

【主な販売先】

Revitを導入している企業、特に意匠設計を行っている企業

【今後の開発について】

今後も定期的な製品のアップデートを継続し、建設業界のBIM普及の課題解決を支援できるよう取り組んでまいります。

【製品概要】

- 製品名： Lightning BIM ファミリ管理
- 発売時期： 2024年1月9日(火)
- ライセンス価格： 30,000円（税別）/ 年間
- ライセンス形態： 1年間のサブスクリプション
- Revit対応バージョン： Revit2021以降
- 製品URL： <https://lightningbim.com/family-management>

【Arentが目指す建設業界の未来】

建設業界では長時間労働や労働者の高齢化、2024年問題などの課題解決が急務です。Arentはデジタルの力で、建設業界で働くビジネスパーソンを負担のかかる作業から開放し、クリエイティブな業務に集中できる働き方へと変え、業界全体の生産性向上と持続

可能な成長を実現することを目指します。

【株式会社Arentについて】

Arentは『暗黙知を民主化する』をミッションに、建設DXを推進するDXのスペシャリスト集団です。顧客志向を徹底し、日本企業に眠る高度なコア技術をコンサルティングで見極め、システム化し、デジタル事業化（販売）するまでをクライアント企業様と伴走し、一気通貫で行っています。

【会社概要】

- 会社名：株式会社Arent
- 本社所在地：東京都中央区八丁堀2-10-7
- 代表者：鴨林 広軌
- 設立：2012年7月2日
- 資本金：5億4,498万円
- 事業内容：建設業界を中心としたDXコンサルティング、システム開発、システム販売
- URL：<https://arent.co.jp/>
- お問い合わせ先：<https://arent.co.jp/contact/>

【お問合せ先】

- 広報：info@arent3d.com
- 製品：<https://lightningbim.com/family-management#contact>